No.	019	—	2001	事務事業名	(上水)滞納整理業務	細事務事業名	料金の滞納整理及び不能欠損事務	公的関与	3				
PLAN	課名	水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4416	メールアドレス	suido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	4 上下水道等の整備		主要施策	(3)水道事業の健全運営				
	事業の対象	水道料金滞納者				根拠法令	東温市水道事業給水停止処分に関する規程等						
	事業の目的	最終的	収納率100%を目指します。			今年度	計画的な滞納整理を行います。						
	活動内容	①	滞納者の抽出。			④	給水停止措置を含めた催告通知書等の発送。						
		②	督促状の発送。			⑤							
		③	面談通知書の発送。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		収納率	収納額/調定額		%	目標	100	100	100	100			
				実績	90	90							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	水道事業会計			費目名	上下水道事業・簡易水道事業			費			
	直接事業費	平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.251 人	1,497 千円	0.251 人	1,509 千円	0.215 人	1,318 千円					
		臨時職員工数・経費	0.107 人	206 千円	0.107 人	211 千円	0.042 人	83 千円					
	全体事業費(A+B)		1,703 千円		1,720 千円		1,402 千円						
一次評価者	管理係	総合評価点	D	必要性	3	有効性	2	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	公平性確保の観点から、水道料金の滞納は認められず、収納率100%を目標として、事業実施の必要があります。												
有効性	督促状の送付、給水停止措置を含めた催告通知を継続して送付していく必要があります。下水道課料金係や税務課債権管理室との連携を強化していく必要があります。												
達成度	収納率向上のため、計画的な滞納整理を実施していくことが重要です。												
効率性	中長期的な滞納整理計画の作成と継続可能な滞納整理の実施が必要です。												
当面の課題	中長期的な滞納整理計画を作成し、水道料金の計画的な滞納整理が必要です。												
改革計画	水道料金の催告対象者に対して、給水停止措置を含めた催告通知を送付するなどして、公平性確保を図りながら、計画的で効率的な滞納整理対策を検討します。												
二次評価者	水道課長	総合評価点	D	必要性	3	有効性	2	達成度	1	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	滞納整理は、公平性の確保と経営の健全化のため大切な事業です。平成29年度の取組を着実に実践するとともに、新たな視点で改善策を検討して下さい。												

No.	019	—	2002	事務事業名	(上水)検針事業	細事務事業名	検針及び未検針・異常水量等の確認事務	公的関与	3				
PLAN	課名	水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4416	メールアドレス	suido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	4 上下水道等の整備		主要施策	(3)水道事業の健全運営				
	事業の対象	各戸水道メーターの検針				根拠法令	東温市水道メーター点検事務委託規則						
	事業の目的	最終的	未検針件数、検針誤り件数0を目指します。			今年度	未検針件数、検針誤り件数0を目指し、検針環境の整備を図ります。						
	活動内容	①	使用者名義の異動処理、新規加入者登録処理。			④	未検針メーター再検針。						
		②	検針台帳の作成、ハンディターミナル準備。			⑤	異常水量表示者再調査。						
		③	検針業務。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		未検針、検針誤り件数		各戸水道メーターの未検針、検針誤り件数		件/1期	目標 0	0	0	0			
					実績 20	20							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	水道事業会計		費目名	上水道事業			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	6,719 千円	6,724 千円	7,021 千円								
	計(A)	6,719 千円	6,724 千円	7,021 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.272 人	1,622 千円	0.272 人	1,635 千円	0.177 人	1,085 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		8,341 千円	8,359 千円	8,106 千円								
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	正確な水道料金徴収のために必要です。未検針となっている所は、検針環境を整える方法を検討します。												
有効性	正確な水道料金徴収のためには有効ですが、一層の効率性を追求する必要があります。												
達成度	未検針及び検針誤りについて、発見後即座に調定変更、還付処理等を行っており、概ね目標は達成していますが、効率性を検討する必要があります。												
効率性	概ね目標は達成していますが、検針環境を整えるよう実施手段等を検討する必要があります。												
当面の課題	メーターの上に車がある等、検針環境が整っておらず、再度訪問となる場合があります。												
改革計画	住民に対し、検針環境の整備をするよう通知を行い、可能な限り再訪問にならないようにします。また、検針員に対しても、検針できない家については、検針期間中複数回訪問し、県境改善を促すよう指導します。												
二次評価者	水道課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	検針は、現状では市が実施する必要性の認められる事業です。賦課徴収業務の民間委託を直ちに行うことは困難ですが、情報収集に努めて下さい。												

No.	019	—	2003	事務事業名	(上水)給水施設維持管理事業	細事務事業名	管路施設維持管理事務	公的関与	3				
PLAN	課名	水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4416	メールアドレス	suido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	4 上下水道等の整備		主要施策	(3)水道事業の健全運営				
	事業の対象	配水、給水施設				根拠法令							
	事業の目的	最終的	定期点検等によって事故を防止します。			今年度	巡回点検・通報等によって異常箇所を発見し早期修繕します。						
	活動内容	①	巡回点検・通報等による異常箇所の発見。			④							
		②	異常箇所の修繕。			⑤							
		③	定期点検等による事故の防止。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		事故件数	本管漏水件数		件	目標	0	0	0	0			
実績						21	23						
					目標								
					実績								
					目標								
	実績												
DO	予算費目	会計	水道事業会計			費目名	上水道事業			費			
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	7,292 千円	18,331 千円	15,690 千円								
	計(A)	7,292 千円	18,331 千円	15,690 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.305 人	1,819 千円	0.305 人	1,834 千円	0.259 人	1,588 千円					
		臨時職員工数・経費	0.235 人	453 千円	0.235 人	464 千円	0.093 人	185 千円					
	全体事業費(A+B)		9,564 千円	20,629 千円	17,463 千円								
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	定期点検等によって行っていますが、今後はより効率的に行うため、更に手法を検討します。												
有効性	定期点検等により、施設を適正に管理することができています。												
達成度	定期点検等により、適正な施設能力の維持ができています。												
効率性	概ね目標は達成していますが、他の実施主体を研究し、効率的な手法を検討する必要があります。												
当面の課題	定期点検等によって、配水給水施設の機能を保ち、水道利用者への安定供給を図ります。												
改革計画	巡回点検を実施し、継続的に適切な維持管理を行いながら、他の実施主体を研究し、効率的な手法を検討していきます。												
二次評価者	水道課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	管路施設の維持管理は、安定供給と経営の健全化のため大切な事業です。早期発見、早期対応に努めて下さい。なお、情報共有や緊急時の情報発信の在り方について検討して下さい。												

No.	019	—	2004	事務事業名	(上水)日常点検事業	細事務事業名	日常点検事務	公的関与	3				
PLAN	課名	水道課	係名	管理係	電話番号	089-964-4416	メールアドレス	suido@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	4 上下水道等の整備		主要施策	(3)水道事業の健全運営				
	事業の対象	浄水、配水及び給水施設				根拠法令							
	事業の目的	最終的	水道監視システムによる監視により、事故の防止、施設の能力維持等を行い、効率的に水道水の安全確保を図ります。			今年度	水道監視システムによる監視及び巡回点検により、事故の防止、施設の能力維持、水質管理等を行います。						
	活動内容	①	巡回点検、水道監視システムによる異常箇所の発見、水質確認。			④							
		②	給水施設等の異常箇所の修繕。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		修繕件数		浄水、配水及び給水施設の修繕件数		件	目標	0	0	0	0		
実績							24	31					
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	水道事業会計		費目名	上水道事業			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
		臨時職員工数・経費	0.726 人	1,399 千円	0.726 人	1,433 千円	0.288 人	572 千円					
	全体事業費(A+B)		1,399 千円	1,433 千円	572 千円								
一次評価者	管理係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	水道監視システムによる監視及び巡回点検を行っていますが、一部民間業者委託等検討の余地があります。												
有効性	水道監視システムによる監視及び巡回点検により、施設を適正に管理することができます。												
達成度	水道監視システムによる監視及び巡回点検により、適正な施設能力の維持ができています。												
効率性	概ね目標は達成していますが、民間業者委託や水道監視システムの更なる整備により、効率性、正確性の向上を図る必要があります。												
当面の課題	水道監視システムによる監視及び巡回点検により、事故の防止、異常箇所の早期発見に努めます。												
改訂計画	点検箇所、点検方法等をさらに見直し、効率化、正確性の向上を図ります。												
二次評価者	水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	日常点検は、安定供給のため大切な事業です。水道監視システムを過信することなく、巡回点検と合わせて適切な維持管理に努めて下さい。												